

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターはぐはぐ子ども村				公表日	令和7年3月25日		
		利用児童数	令和6年12月31日		回収数	60 / 86		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	57	1		1	サーキットや遊ぶ部屋は広く、各活動するのに十分だ と思います。	今年度より施設を譲渡してもらうことができ、より十分な スペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切だと思いますか。	55			5	1つのクラスに数人いて、まんべんなく子供達を見てフォ ローしてくれていると思います。	基準以上の人員を配置している。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	2		4		絵や写真などを使い視覚的構造化を図っている。施設が成 人用に建てられた物なので、補助便座や踏み台などを 使い、子どもの目線に立って環境を整えるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、子ども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	58	1		1	何度か足を運んだことがあります、清潔だと思います。	療育の前は毎回掃除・消毒を行っている。活動部屋は、 冷暖房を完備しているので快適に過ごせる環境になっ ているが、廊下が夏は暑く、冬は寒いので、移動式の冷暖房機 や扇風機を使い、冬はカーベットを敷いたり手洗い場に温 水を用意するなどして、少しでも改善できるように務めて いる。
適切 な支 援の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	56	1		3	まだ見学も2回ほどしかしたことがなく、センターでの話 を聞く機会もなかなかわかりません。/色々な資格を 持つ方がいらっしや、子供達を見てくれるので安心で す。	見学時のアセスメントのほか日々の活動でもアセスメント を行い子どもの理解に努め、公認心理師や理学療法士、作 業療法士、言語聴覚士などの専門家に定期的な観察・助言 をもらい支援に役立てている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	55			5	思います。	支援プログラムは、見学の時や契約の時に説明してい るが、今後はホームページにも掲載して公表していきたい。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	58			2	思います。	療育後は必ず振り返りを行い、多様な視点を持って子ども を理解し、個別支援計画の見直しを行い、職員間での評 価、原案作成したのち、会議で協議してから作成してい る。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライ ンの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内 容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	58	1		1	思います。	ガイドラインに沿って個別支援計画を立てている。わかり やすい言葉で説明するよう心がけている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	58			2	思います。	職員は療育に入る前に毎回支援計画に目を通すようにし ており、療育後は、振り返りを行い、支援計画に沿って支援 し記録を残すようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	52	2		6	見学に行くタイミングがなかなかないのでわからない/定期的 に変えていると聞きます。/四季折々の行事を計画してくださ り、楽しんでいます。/特にサーキットは常に変化があり、本人 も話題に出すことが多い。/定期的にプログラムや目標の変更 をしていただき、対応してもらっている。	感覚統合運動の時間、集団活動の時間、自由遊びと基本3部 構成である。感覚統合運動については、3か月に1回見直 し、子どもの力に合わせてグレードアップできるように工 夫している。また、季節を感じる事が出来るように設定遊 びを取り入れている。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、そ 他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	45	3	2	10		ほとんどの利用者様が保育園・幼稚園との並行通園を行っ ているため、ほかの子どもとの活動は確保されている。法 人のイベントには、施設外の人も招待し、触れ合う機会を 作っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	59		1		書類に書いてあるところをより詳しく丁寧に説明していただきました。	見学の時や契約の時に、わかりやすい言葉で説明を行っている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	59	1			R6年7月が最後です。／説明されました。	支援計画の説明の際は面談で行い、支援の様子を伝えながら計画について話をしている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	51	2		7		案内を配布し、希望者を募り、ペアレントトレーニングを実施している。今年度は、2回実施した。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	53	5	1		見学に行った時やモニタリング報告を受ける時に、はぐはぐの様子を聞いたり家で様子を見たりします。	母子通園を自粛しているため、電話やメールで様子をお伝えしたり、見学をしていただいた際にお伝えできるようにしている。健康面については、気になる様子がある場合はすぐにお伝えするようにしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	53	6		1	行われています。／見学に行った際、色々お話をさせていただきます。	悩んだ時は、いつでも連絡がとれる体制を整えている。個別支援計画の説明も面談で行い、普段の様子や悩み事があれば何うようにしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	2		1	職員の方と係ることがほとんどないのでわかりません。／思います。／定期的に電話やメール等で子供の様子を教えて下さり感謝しています。	母子通園を自粛しているため、直接支援する職員と保護者様が話をする機会がほとんどなく、児発管が話を何うようにしている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	36	6	1	17	コロナ禍で出来なくなったのかもしれませんが、保護者の交流があったら、いろんな情報が入ってきやすいのかもしれない。／イベントは定期的に開催されていますが、保護者交流はあまり出来なかった。	父母の会がないので、保護者様同士で出会う機会があればと家族参加型のイベントを企画している。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	55	2		3	最初の契約の時に説明を受けました。／いつも迅速に対応していただいています。	見学時や契約時にいつでも相談できることや公認心理師との面談ができることを伝えている。相談があった場合はすぐに連絡を入れるように心がけている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	56	3		1	子どもからは聞けないのでセンターでの出来事など教えてもらえると嬉しいです。／思います。／何かあれば電話連絡をいただけます。	子どもには、理解しやすい言葉や写真、絵カード等視覚的に知らせるなどしている。保護者様には、お便りに写真を使ったり、メールなどで知らせるなどしてきている。より共有できるよう努めたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	52	2		6	個人でもあると嬉しいです。／月に1度、はぐはぐよりもよく届くので今月は何をしたらか写真を見れるので良いです。／“最近のようす”を知らせてくださるのが数ヶ月に一度の楽しみ。／毎月のおたよりは写真がたくさん載っていて普段の様子やイベントがよく分かります。	月1回のお便りを発行し、写真等を使って活動を知らせている。個別に定期的に様子を知らせるためにミニお便りの発行を今年度から開始した。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	58			2	思います。	個人情報の取り扱いについては、職員で徹底している。相談支援や保育園等情報の共有を図る時は、保護者様の同意の下、十分に配慮していく。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	51	1		8	定期的に訓練されているようです。	契約の時に、緊急時の対応や地震発生時の対応について説明を行っている。子どもたちと一緒に避難訓練のほか、職員を対象とした訓練を計画し実施している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	54	1		5	避難訓練は定期的にされています。また、たまに車の送迎で違う道を通ってパニックにならないように練習もしているみたいです。	毎月1回子どもたちとの避難訓練を実施しているほか、職員を対象として、感染対策や救急救命法など学ぶ機会を作り、訓練している。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	56	1		3	思います。／利用し始めたばかりでわからない。	安全計画を立て、事故には十分気を付けている。契約時に送迎車内でのチャイルドシートの種類の確認を行い、必要であれば添乗を付けるなどして安全に送迎ができるようにしている。施設内の活動では、子ども視線で環境を見直し、安全に過ごすことができるように気を付けている。置き去り防止のシステムも使用している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56	1		3	最初に説明されました。／ケガをした時に、すぐ連絡をいただき、説明もあったので良かったです。	小さなケガも保護者様には必ず知らせるようにしている。職員には、活動中ケガの恐れがあった場合は、ヒヤリハットの報告書を作成し、改善するように努めている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	57		1	2	とても楽しそうに話してくれます。／たまに送っていくと、すぐに先生方に手を振って声をかけに行きます。	楽しく安全な場所になるように全職員で努めていきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	52	7	1		月曜日にははぐはぐなので動かっています。／率先して行く準備をします。／時折、「行きたくない」と言う事もあるが、行けば楽しい様子。／季節の行事などもあり、子供はいつも行けるのをたのみにしています。	登園を渋る子、泣いてやってくる子というが、職員に会うと泣き止み、活動が始まると笑顔になっている。事業所が子どもたちにとって楽しい場所となるよう子ども視点に立って工夫していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	56	4			満足です。／あたたかく見守っていただき、本当に感謝しています。ありがとうございます。／とても満足しています。	支援の質の向上のみならず、保護者様が安心してお子様をあずけることができるように情報の伝達と共有の手段を改善できるよう努めていきたい。